

上池モトクロス場跡地D整備地の維持管理方針について

組織体制の検討に向けた維持管理内容の精査のための試行

【事務局】

- 組織体制の検討のために、まずは維持管理内容の精査が必要とされました。
- 具体的な検討をお願いします。

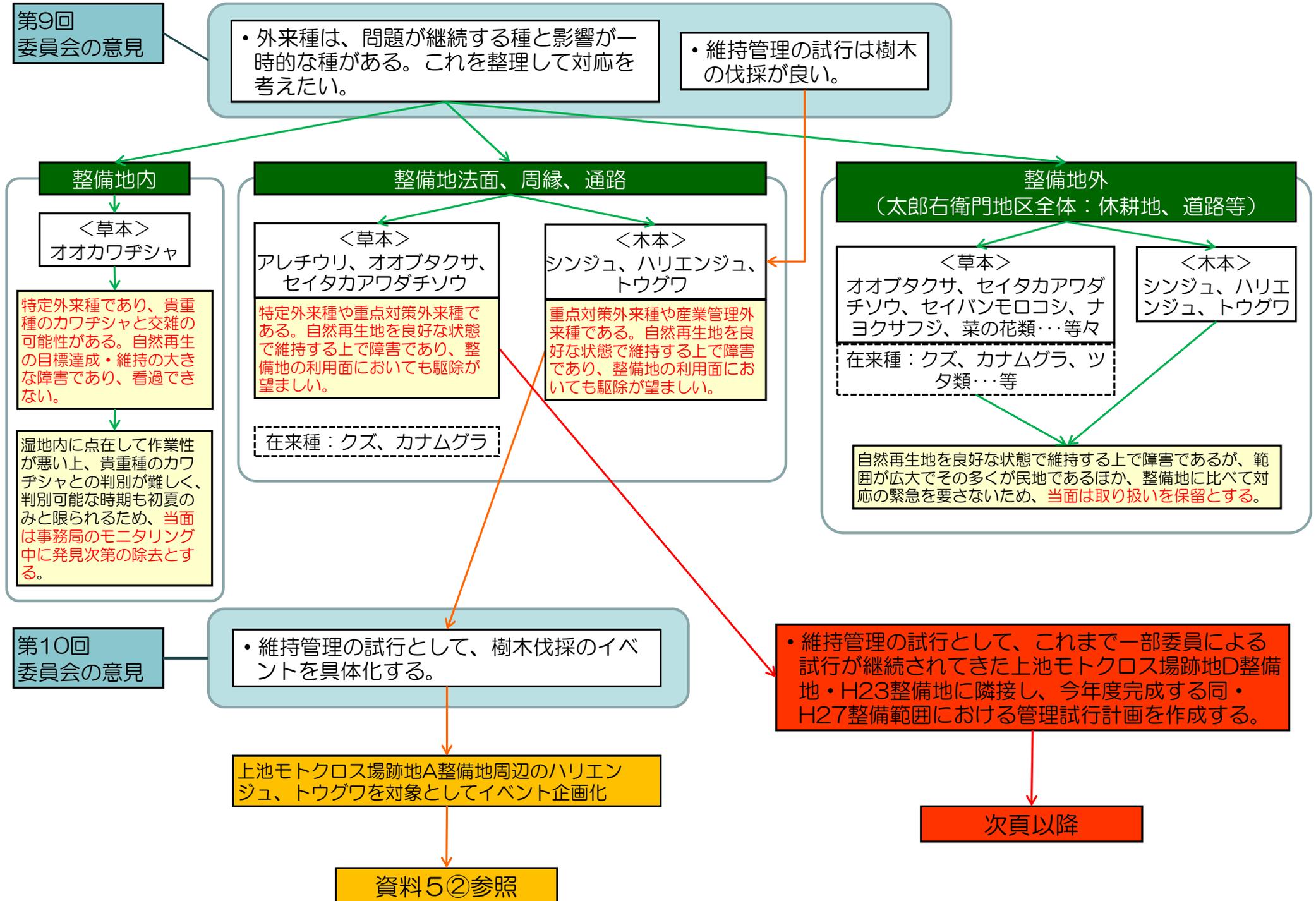
1. 維持管理内容の精査

●管理目標WGで整理した表をもとに、現状の整備状況とこれまでの意見に基づく維持管理上の課題事項を追記した表です。

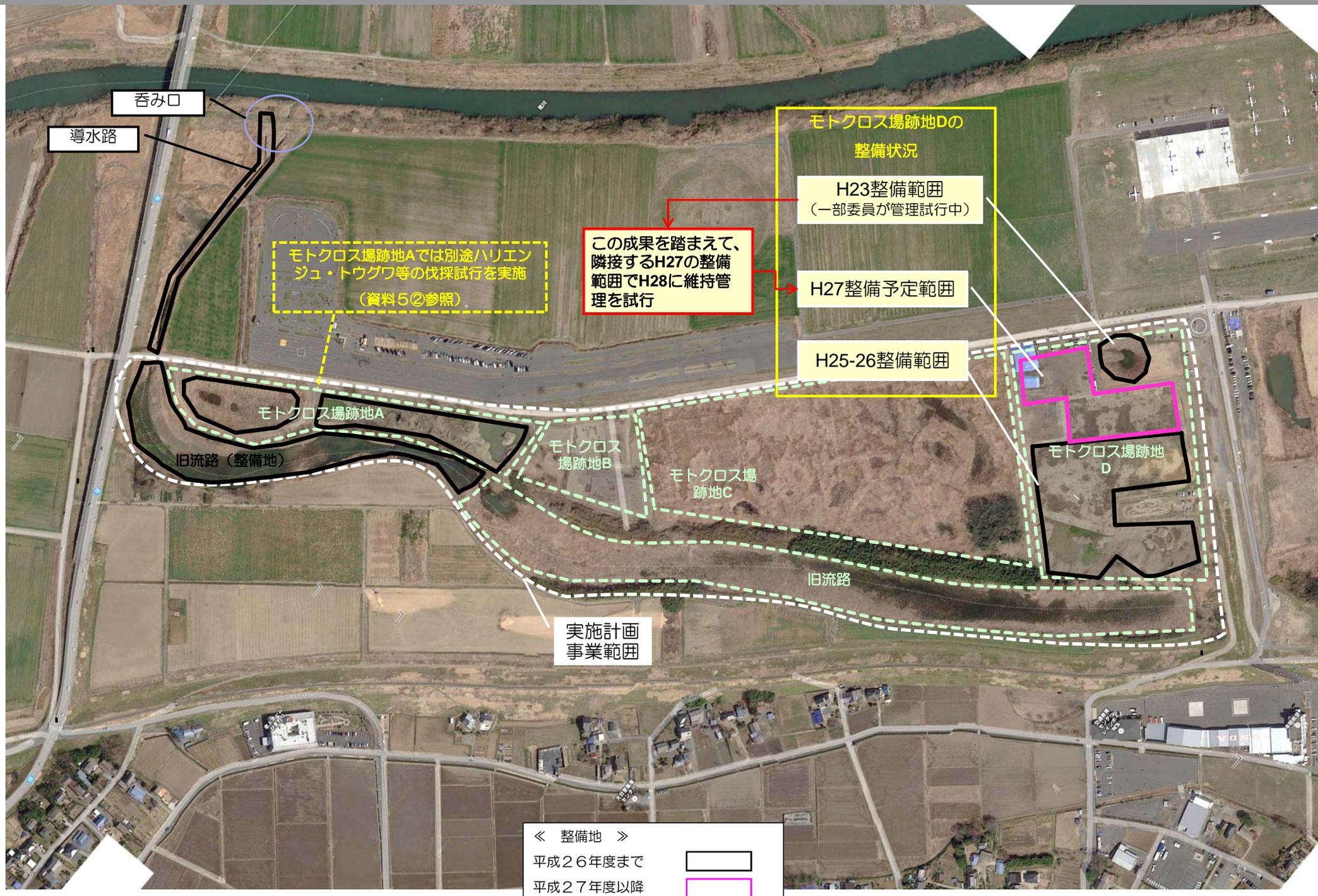
第9回・第10回
委員会検討資料

地区・管理対象		維持管理	現状	現時点の課題	備考		
上池	上池 旧流路 整備地	呑み口	洪水後のゴミ除去（年1回） ※洪水流入は1.5回/年の計画	整備済み	出水時にゴミが溜まる	流入実績は2回/年（5年で10回）	
			周辺の除草：毎年5月と7月の2回	整備済み	—	原則立入禁止方針	
			堆積土砂の除去：10年に1回	整備済み	—		
		導水路	除草：毎年5月と7月の2回 300m	整備済み	通路付近から見てもらうため20m×両側程度の草刈りが必要である。		
		通路	管理用通路の除草（毎年5月、7月）旧流路沿い	整備しない方針	—	—	
		整備地	植生管理（オオブタクサ、アレチウリ、セイタカアワダチソウの除去等）：毎年13回	整備済み	オオカワヂシャが増加している。	他の外来種は現時点で問題なし	
	上池 モトクロス 場跡地 整備地	通路	管理用通路の除草（毎年5月、7月）モトA周囲	整備済み	通路に草本繁茂		
		看板	看板（5個）の補修：10年に1回	上池全体で4個で検討中（うち1個は中池共通）	—	—	—
			除草：看板（5個）周囲1m範囲のみを毎年5月～10月の毎月				
		柵	補修：10年に1回	一部設置	—	—	—
周辺の除草：毎年5月と7月の2回			一部設置	—			
整備地	植生管理（オオブタクサ、アレチウリ、セイタカアワダチソウの除去等）：毎年13回	整備中	オオカワヂシャが増加している。 通路周辺および法面に左記外来種、シンジュ・ハリエンジュ、つる性草本（カナムグラ・クズ）がある。	整備した「湿地」に影響している状況では無い。委員による維持管理試行箇所では特定外来種は確認されていない。			
中池	中池 河畔林	通路	管理用通路の除草（毎年5月、7月）	通路検討中	—		
		看板	看板（1個）の補修：10年に1回	中池全体で4個で検討中（うち1個は上池共通）			
			除草：看板（1個）周囲1m範囲のみを毎年5月～10月の毎月				
保全エリア	植生管理（シンジュ・ハリエンジュの伐採）：毎年1回	—	シンジュおよびつる性植物が在来植物に影響している。				
下池	下池 ハンノキ 移植地	通路	管理用通路の除草（毎年5月、7月）	通路検討中	—		
		看板	看板（2個）の補修：10年に1回	下池全体で7個で検討中			
			除草：看板（2個）周囲1m範囲のみを毎年5月～10月の毎月				
		実施計画範囲	植生管理（シンジュ・ハリエンジュの伐採）：毎年1回 移植したハンノキのつる性草本の除去：毎年2回	維持管理作業を軽減する整備方法を検討中である。			
地区全体	全体	不法投棄・盛土・工作物等の監視・巡視	未検討				
		市町村ゴミ収集（年10回）	未検討				
	看板	看板（2個）の補修：10年に1回	看板検討中				
	管理センター（仮称）	センター施設の補修（未設置）	未検討				
	地区周辺の管理用通路の除草・補修等		通路検討中				
	航空写真（垂直・斜め）5年に1回＋大規模出水10年に1回		未検討				
整備地以外の植生管理（樹木伐採等）		未検討	アライグマ	モニタリング中			

2. 維持管理の試行

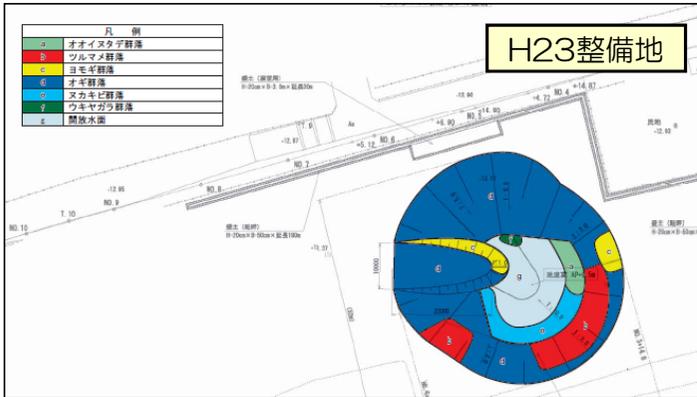


3. モトクロス場跡地D整備地での維持管理の試行



3. モトクロス場跡地D整備地での維持管理の試行

H26秋の植生図（H27秋は作成中）



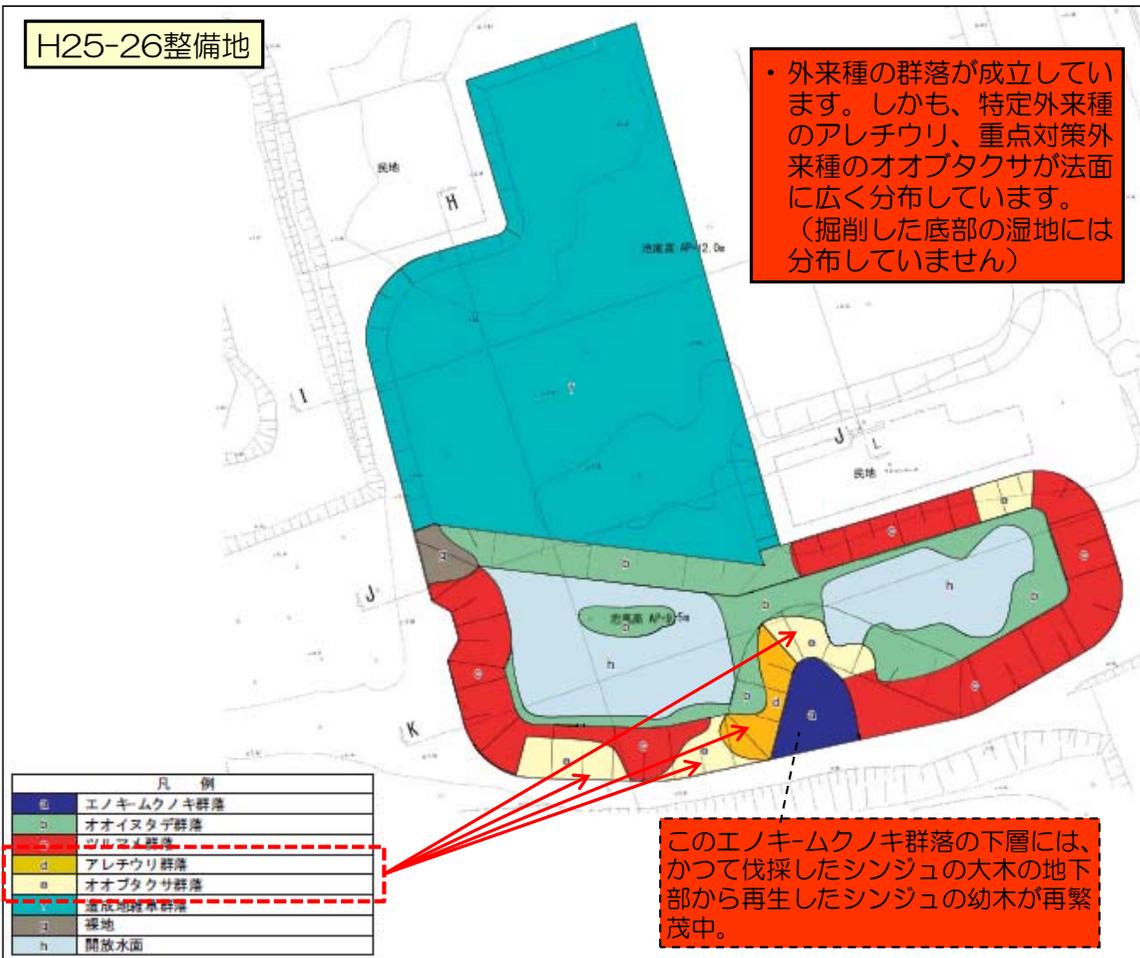
【管理試行状況】
 ・H24-27まで、年2回程度、3-5人で数時間の外来種の刈り取り・抜き取りを実施。

↓
 ・外来種の群落は成立していません。
 ・整備地の周囲にはセイタカアワダチソウ等の外来種が分布していますが、管理試行が行われているため、まとまった規模の群落は、整備地内と同様に成立していません。

H27整備範囲の試行管理方針(案)

- ・掘削地周辺および掘削法面の外来種の抜き取り・刈り取りを実施します。
- ・整備前・整備中の1-3月に委員会で現地を確認します。（H23整備地をあわせて確認します）
- ・①5月頃、外来種の侵入状況を委員会で確認します。（整備直後であるほか、植物の生育初期であるため、容易に歩けると想定されます）
- ・②7月頃、外来種の繁茂状況を委員会で確認します。この状況を踏まえ、③の企画を検討します。
 - この時点で繁茂が著しい場合は委員会で可能な範囲で抜き取り・刈り取りを実施します。
- ・③9月頃、協議会内外に参加者を募って抜き取り・刈り取りの試行を行います。（この時期は種子の結実・散布前であり、また、抜き取り・刈り取り後の再生がしにくい時期であるため、効果が期待出来ます）

H25-26整備地



・外来種の群落が成立しています。しかも、特定外来種のアレチウリ、重点対策外来種のおオブタクサが法面に広く分布しています。（掘削した底部の湿地には分布していません）

このエノキムクノキ群落の下層には、かつて伐採したシンジュの大木の地下部から再生したシンジュの幼木が再繁茂中。

